

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

「HLA遺伝子型判定」 アレル表記法変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、下記項目の報告書表記内容を別掲の通り変更致します。

何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

対象項目

- [7512] HLA遺伝子型判定(A Locus)
- [7514] HLA遺伝子型判定(B Locus)
- [7516] HLA遺伝子型判定(C Locus)
- [8432] HLA遺伝子型判定(DRB1)
- [4459] HLA遺伝子型判定(DQA1)
- [8282] HLA遺伝子型判定(DQB1)
- [8283] HLA遺伝子型判定(DPB1)

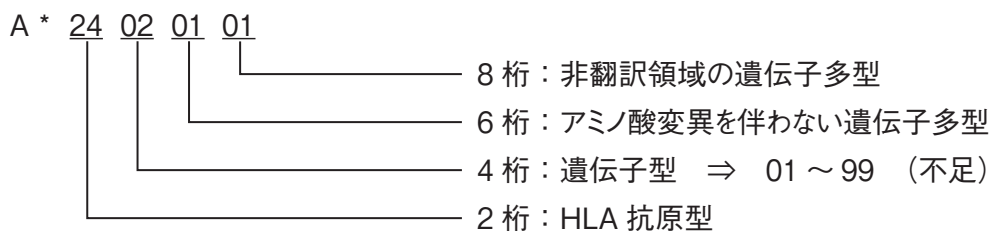
実施期日

- 平成22年7月1日(木)受付日分より

HLA遺伝子型検査

HLA遺伝子型のアリル番号はWHOに設置されているHLA命名委員会により承認・管理されています。近年アリル数が急激に増加し、委員会の想定をはるかに超える状態を招いたため、アリル表記法の変更が検討され、平成22年4月より新表記法に移行することになりました。わが国では日本組織適合性学会より平成22年7月から新表記法に移行する指針が出されました。この学会の指針に則り、弊社では新表記法に変更し、ご報告させていただきます。

■従来のHLAアリル表記法



【今回の表記法の変更点について】

1. 基本ルールとして、番号の2桁ごとにコロン「:」を挿入します。

例)	旧		新
	A*02010101	→	A*02:01:01:01
	B*510101	→	B*51:01:01
	DRB1*040501	→	DRB1*04:05:01

2. 遺伝子型数が99を超える場合

現状では、99番目がA*0299の場合、100番目はA*9201と表記されますが、新表記法では99番目がA*02:99となり、100番目はA*02:101と表記されます。

(A*02:100とB*15:100は欠番)

なお、詳細につきましては日本組織適合性学会ホームページ
<http://jshi.umin.ac.jp/> をご覧ください